

News & Information

ソニー教育財団 高校生エンジニア体験 参加校募集（オンライン開催）

ソニーの社員が講師となり 高校生4名1チームで

「エンタテインメントロボット“aibo”」の動きを作るアプリケーションを開発

ソニー教育財団（会長：盛田昌夫）は、高校・高専を対象に実施する第3回「エンジニア体験プログラム」の参加校を募集します（2018年より実施）。今年度は、4名で1つのチームを作り、自律型エンタテインメントロボット“aibo”（アイボ）のオリジナルの動きを実現するアプリケーションの企画・開発の一連の流れを体験していただきます。指導・助言はソニー株式会社のaiboの開発チームが直接行います。すべてのイベントはオンラインで実施します。

約1か月間の開発期間には、aiboとアプリケーション開発に必要な環境を無償でお貸し出しいたします。生徒が開発した作品の中で、aiboが私たちの生活に喜びや感動を与えるようなアプリケーションは、ソニーの承認のもと、一般のaiboオーナー様にもご提供させていただく予定です。

aiboにどのような動きをさせてみたいですか？プログラミング・アプリケーション開発や商品企画に興味や関心を持つ高校生、仲間とともに最後までやり遂げる強い気持ちを持つ高校生と、その思いに寄り添い、支えてくださる学校からのご応募をお待ちしています。

※全員である必要はありませんが、メンバーの中には、HTMLやPythonなどの初歩的なコードを理解する生徒の参加が必要です。また、応募者多数の場合は抽選とさせていただきます。



エンタテインメント
ロボット“aibo”
が学校にやってくる！

第3回「高校生対象 ソニーのエンジニア体験（aibo）」募集概要

募集期間： 2020年10月19日（月）～11月27日（金）18時受付まで

募集校数： 日本国内の高校・高専より6校

※応募者多数の場合は抽選とさせていただきます

対象者： 1校あたり1チーム4名と代表の先生1名（生徒参加者総数24名）

開催日： すべてのイベントはオンライン（Microsoft Teams）で実施します。

◆【参加必須】 キックオフ（オリエンテーション、開発手順説明等）

2020年12月17日（木） 15時30分～18時00分

◆生徒によるアプリケーション開発期間

2020年12月17日（木）～2021年1月26日（火）

※この期間に各校で開発チームへの質疑や助言を求める機会を設けます。

日程は個別に調整させていただきます。

◆【参加必須】 プレゼンテーション（成果物についての発表、講評）

2021年1月27日（水） 16時00分～18時30分

※動画とプレゼンテーションスライドでアプリケーションやaiboの動作について説明していただきます。

- 確認事項：**
- ・お申し込みは学校単位とし、生徒4名で1チームを構成いただきます。
(1校につき1チームのみ)
 - ・手続き等のご連絡は、代表の先生宛にメール等でさせていただきます。
 - ・全員がプログラミング言語を理解できる必要はありませんが、メンバーの中には、HTMLやPythonなどの初歩的なコードを理解する生徒の参加が必要です。
 - ・学校にaiboを1体と開発環境をお貸しします。学校での管理をお願いします。
 - ・パソコン等のハードウェア、ネットワーク環境は参加者側でご用意ください。
 - ・オンライン会議（Microsoft Teams）ができる環境が必要となります。

体験できること・学べること：

- ・ソニーの最新技術や開発現場などの話を聞くことができます。
- ・ソニーの開発チームと直接対話しながら、各自が責任を持ち、課題解決をしたり、チームで開発を進めたりする一連のプロセスが体感できます。
- ・同じ年代の参加者がアイデアを発表し合うことで刺激になります。
- ・生徒が作成したアプリケーションの中でソニーが承認したものは、一般公開され、自ら設計したアイデアが、世の中の役に立つことを実感できます。

参加費： 無料

応募方法： 詳しい開催内容、参加条件および応募フォームはこちらをご覧ください。

<https://www.sony-ef.or.jp/monodukuri/highschool.html>

ご応募いただいた学校へは、先生宛にメールで「受領」のご連絡をさせていただきます。締め切り後に、「抽選結果」および詳細のご連絡させていただきます。

■ソニー創業者 井深大と教育助成について

ソニーの創業者である井深大は、戦後間もない日本において、科学技術の振興こそが国の発展に繋がると考え、次世代を担う子どもたちへの理科教育に多大な関心を抱いていました。日本初のトランジスタラジオを発売し、会社経営が軌道に乗り始めたのを機に、1959年に「ソニー小学校理科教育振興資金」の贈呈を始めました。ソニーの教育支援活動の始まりです。この事業を継続的に発展させるため、1972年に「財団法人 ソニー教育振興財団」を設立しました。その後、井深大の理念を引き継いだ教育助成活動は対象を中学校にも拡げ、子どもたちの感性・創造性・主体性の育成を目指した「ソニー子ども科学教育プログラム」へと発展。60年に亘り、創造的で先進的な取り組みを行う全国の学校、先生方を支援してきました。

一方で、井深大の関心は幼児教育にも広がり、1969年に「財団法人 幼児開発協会」を設立しました。幼児期の豊かな感性と創造性の育成を目指し、2002年から幼稚園・保育所・認定こども園を対象にした「ソニー幼児教育支援プログラム」を開始しました。2011年に「公益財団法人 ソニー教育財団」となり、乳幼児期から中学生までの「科学する心を育てる」こと、「科学が好きな子どもを育てる」ことを柱にした教育助成を行っています。教育助成の他、“自然に学ぶ”をテーマに探究する小・中学生対象の「科学の泉ー子ども夢教室」、親子の絆を育む「“科学する心“を見つけよう フォトコンテスト」など、未来を生きる子どもたちへのさまざまな支援活動を行っています。

<報道関係の問い合わせ先>

公益財団法人 ソニー教育財団 東京都品川区北品川 4-2-1
TEL:03-3442-1005 FAX:03-3442-1035 (担当 山下)